

IAATOクジラ類ウォッチングガイドライン



海洋哺乳類に関する一般的なルール クジラの潮吹きを見たら慎重に行動してください

- 動物と過ごす時間は、最長で30分です。動物と過ごしている間に、動揺していることを表す兆候や、行動に変化があったら、静かにゆっくりと退却してください。
- 決して群がったり(取り囲んだり)、海洋哺乳類の群れに分け入ったり、散開させたりしないでください。特に母親と子供には注意してください。適切な場合、動物から見える場所に留まってください。決して動物を追いかけないでください。
- 海洋哺乳類が近くにいる時は、声は小さくして、口笛を吹いたり叫んだりしないでください。
- ラジオの音量は下げてください。
- 動物を動揺させることを極力避けるため、ほかのボートと連絡を取ってください。
- 動物を驚かせるような急な動きは避けてください。
- 絶対に動物に触ったり餌を与えたりしないでください。
- 水中音はいかなるものでも再生してはなりません。水中音を聞くために小型ボートで水中聴音器を使用している場合、小型ボートのエンジンを切ることが好ましいでしょう。
- 海岸付近を移動するときは、クジラより沖側に留まるようにしてください。

海洋哺乳類を鑑賞する際の一般的なガイドライン

- 海洋哺乳類が船に接近してくる場合があります。海洋哺乳類が交流を求めて、船体に身を寄せることもあります。この場合は、船を波に任せることが最善策です。ただし、船を動物までの許容範囲内の距離で波に任せることは、意図的に範囲を超えて近づくこと同等です。

- 動物を追いかけたり追跡したりしないでください。
- 動揺させると、動物の行動が変わる恐れがあります。判別がつかないときは、慎重すぎるくらい慎重になって、動物に時間とスペースを与えてください。
- 以下の行動に注意してください。これは、動物が動揺し、船のそばに留まることに興味をなくしたことを示します。この行動が見られた場合は動物をそのまま行かせ、安全な場合はゆっくりとその場を離れてください。
 - 進行方向の変更
 - 方向、もしくはスピードの通常の変更
 - その場から離れる
 - 明らかな一般的な動揺
 - 急な飛び込み
- 躍り上がったリ、尾やヒレで水面を叩いたりする行動は、クジラがボートに気づかずにクジラ同士で交流している兆候です。距離を保ってください。
- クジラが触先で船のスピードに合わせて泳ごうと(バウライド)船体に近づいてきたら、比較的一定のコースを維持して、速度を徐々に落としてください。バウライドを促すためにイルカの群れに入って行かないでください。
- クジラが船体近くで浮上したら、速度や方向を急に变えずに、必要な予防措置をとって衝突を回避してください。予防措置には、速度低下、緩やかな停止、および/または旋回による動物の回避が含まれます。他のボートや障害物に注意してください(例:動物を閉じ込めないよう、海岸線にご注意ください)動物の移動と出口のルートに障害がないか確認し、小型ボートが「トンネル」になってしまわないように確認してください。
- 水中の動物を見るときは、最大で船2隻、または小型バイク4隻で鑑賞することが推奨されます。
- 複数のボートで一緒に動物を見る場合は、ボートを寄せ合せて、動物が通れる開放的で大きな道を確認してください。
- クジラには、正面や真後ろからではなく、平行かつ少し後方(4時または8時)の位置から近づいてください。
- 摂食しているヒゲクジラからは200メートル以上距離をおいてください。動物の風下にいるように心がけてください。
- シャチ(キラーホエール)がカヤックに接近してスパイクホッピングを始めたなら、カヤックの近くに安全用の小型ボートがあることを確認し、カヤックに乗っている人を小型ボートに移すことを検討してください。

水中のクジラに接近するとき -クジラの潮吹きを見たら、慎重に行動してください

水中の海洋哺乳類に近づく際(船、ゾディアック、カヤックなどのすべての乗り物)

クジラを見つけたときにすべきこと-

スピードを落として、見張りを付けてください。400メートルの距離に近づいたら、5ノットまでスピードを下げる準備をしてください。この距離では、エンジンはアイドリングか切った状態にして、クジラが通り過ぎるのを待ってください。

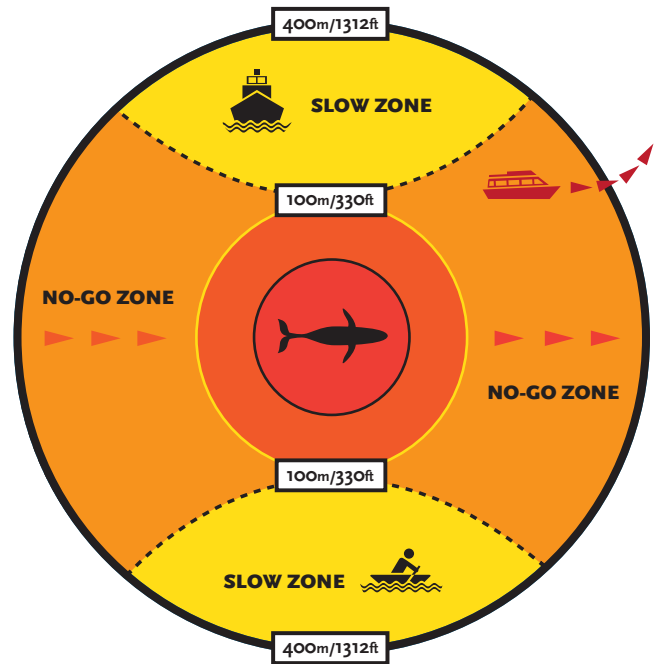
ゾーン1 - 400メートル

-5ノットまでスピードを落としてください。

ゾーン2 - 100メートル

-この距離を保ってください(時としてカヤックの方がステルス機のように静かに接近するため、よりクジラを動揺させることがあることが研究で分かっています)。

- 船が100メートルの距離を保っていない場合、エンジンをニュートラルにし、クジラが通り過ぎるのを待ってください。
- エンジンを切りたい場合は、切る前にまず数分アイドリングしてください。
- 動物を驚かせたり動揺させたりするような過度のエンジン使用、ギアの変更、操縦、または動物のところに戻ったりするなど、急激な音の変化は避けるようにしてください。
- 位置を維持するために、舳先または船尾の平行船首 舵を使用することは避けてください。これらは、高音や集中的なキャビテーションを発生させる場合があります。



- クジラ類は大抵とても好奇心が強く、船や水上バイクに近づいてくることがあります。必ずクジラ類に 主導権を持たせることが重要です。

水中クジラ ウォッチングから出発する

- 100メートルの距離までゆっくりとした波が立たない速度で移動してください。最小接近距離内でのプロペラの使用は避けてください。
- 離れる時は、動物の正面を移動するのは避け、必ず後方に向かって移動してください。離れようとする動物を追いかけたり、追跡したりしないでください。

